

「安曇野、よいまちつくろう」～ 安曇野を深掘りし、発信します ～

～サザンガクテレワークオフィス（松本市）実績報告会～

3月17日、松本ものづくり産業支援センターにて行われたサザンガクテレワークオフィス実績報告会にパネリストとして参加いたしました。サザンガクテレワークオフィスには、企業の人材不足と「自分らしく働きたい」をマッチングさせる取組があり、女性の子育てと両立させながら安心して働けるよう保育施設を併設し、働きたい曜日や時間帯で無理なく働ける環境を整えています。

開設から3年が経ち、ワーカー登録数は約80名と3.5倍に増え、ワーカーからパート・社員へとスキルアップした方もいます。請け負う業務は、データ入力などのバックオフィス業務、Web運用支援やホームページ作成などシステム運用業務、コールセンター業務等と、多岐にわたります。受注の8割は県外からで、依頼する企業にとってもコスト削減やリスク分散などのメリットがあります。

「人材活用で変わる企業の未来～地域DXと新しい働き方の可能性～」と題したパネルディスカッションでは、育児や介護などで働きにくかった女性が、働きながら仕事のスキルや専門性を身に付けられれば、人手不足解消にも、産業イノベーションや経済活性化の大きな推進力にもなる可能性を秘めており、行政も協力して広域的な取組を行うなど、環境整備が必要であることを取り上げさせて頂きました。

「女性・若者に選ばれる県づくり」推進のために、女性や障がい者等が働きやすく暮らしやすい地域社会の実現に向け、今後の取組にも注視してまいります。



パネルディスカッションの様子

【小林陽子プロフィール】2023年4月～長野県議会議員。穂高在住。

「安曇野を子どもたちが誇れるふるさとに」をテーマに田園風景と人の営みが息づく美しいまちづくりを目指す。2016年に夫の実家のある安曇野市穂高にUターン、子育てをしながら野菜中心の家族営農にも取り組む。1971年栃木県生まれ。津田塾大学国際関係学科卒業。趣味はフルート演奏。

発行 小林陽子後援会

事務所 安曇野市穂高 6073-19 番地(安曇野さんさんハウス内)

TEL/FAX 0263-55-7337 e-mail yoko@sunnydayazumino.com

Web ページ <https://www.sunnydayazumino.com/kobayashiyoko.html>

◆Facebook 「小林ようこを応援しよう！」

◆YouTube 「安曇野さんさんニュース」

◆X 小林ようこ(@sunnydayazumino)



Facebook



YouTube



Web ページ



X

安曇野さんさん通信 第28号

～長野県議会議員 小林陽子活動レポート～

2025(令和7)年5月10日発行

安曇野の田んぼに水が入り、残雪の北アルプスが水鏡に映りこむ季節となりました。春先は冷えたり急に暑くなったりと、体調管理が難しかったですが、皆さま、お元気でお過ごしでしょうか。

この4月で、県議会議員の任期4年のうち2年が経過し折り返しとなりました。日頃より、皆さまの温かな励ましやご支援をいただきながら、学び、活動させていただいておりますことに厚く御礼申し上げます。引き続き暮らしやすい地域を目指し取り組む所存です。お気づきのこと、ご意見などをいただければ幸いです。どうぞ宜しくお願いいたします。



県議会での動き～ 生活に関わる主なものを報告します ～

2月議会では、令和7年度予算案が審議され、令和6年度補正予算と併せ、1兆929億円余の予算を可決しました。教育や防災に関する事業や、注目度の高い「宿泊税」をご紹介します。

【子どもたちが主人公の学びの「新しい当たり前」を創る】

①県立高校のALT（外国語指導助手）増員（約2.5億円）②学校と社会との連携コーディネーター（約0.4億円）③「信州型フリースクール」運営補助拡充等（約1.2億円）④スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの相談支援体制拡充（約3.7億円）⑤教員のへき手当で引上げ⑥高校入試インターネット出願及びオンライン決済導入（約1.2億円）⑦中学生の地域クラブ活動運営の体制整備・指導者確保（約2.4億円）

【「地震災害死ゼロ」早期実現】

①住宅耐震改修（約2.8億円）②障害福祉施設の耐震化や、高齢者施設の非常用自家発電設備等の整備支援（約2.9億円）③緊急輸送道路や広域道路の迂回機能強化（約224億円）④道路・河川・砂防・治山・農業用施設等のインフラ整備（約457億円）⑤避難所のエアベッド、簡易テント等の備蓄や、トイレカー整備（約1.1億円）⑥高齢者や障がい者、外国人旅行者等の要配慮者対応強化（約0.4億円）⑦県内21ヵ所の広域物資輸送拠点のマニュアル整備（約0.04億円）

【「世界水準の滞在型山岳高原観光地」をめざして、宿泊税を導入】

11月・2月議会の議論を経て、観光振興の新たな財源である「宿泊税」が、来年6月から導入されることが決まりました。今年度は、宿泊事業者のシステム改修支援（約5億円）や広報（約0.2億円）、「観光ビジョン（仮称）」策定等を実施しつつ、使途の詳細が議論される予定です。

「宿泊税」概要

- ・1泊6,000円（税抜）以上で税額300円（導入後3年間は200円） ・2分の1は市町村へ配分
- ・大学生以下の教育活動や研究活動に伴う宿泊、保育所等の行事宿泊は非課税